

[業界別レポート] 働く人と職場2019 －警備編－

2019年9月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

[業界別レポート] 働く人と職場 2019－警備編－ とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2019」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人に調査した結果をまとめています。本レポートは警備（施設警備の仕事／交通誘導、イベント警備の仕事）を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。警備の仕事で現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、警備の仕事での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

警備業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ ーそれぞれの上位5項目ー	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	7
3. 離職の理由／必要を感じる改善点	9
4. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査2019
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - ー現在、対象業種に従事している人
 - ー過去に対象業種に従事したことがある人
 - ーこれまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - ーこれまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は警備の、計800人。

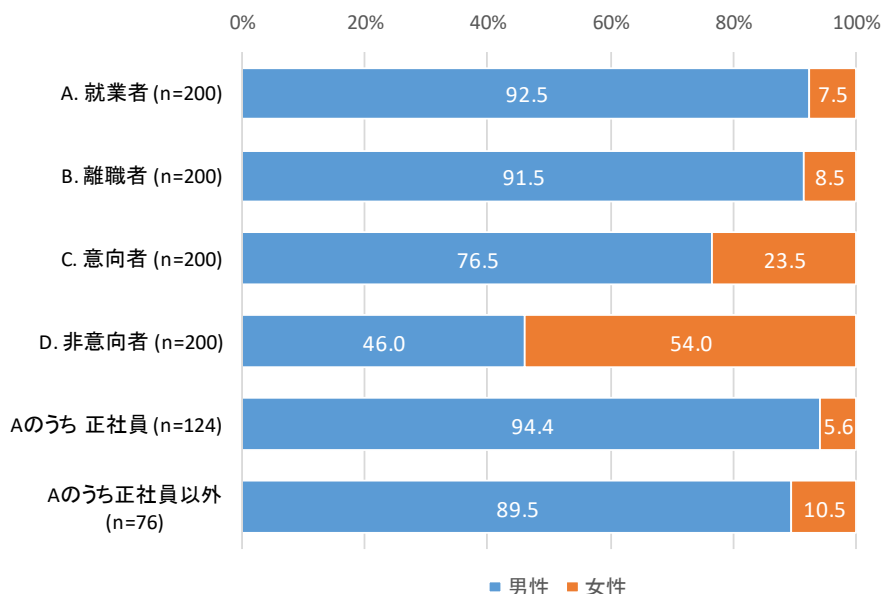
		就業経験者		就業非経験者		(人)
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア		200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売		200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200	
	居酒屋	200	200	200	200	
ホテル・旅館		200	200	200	200	
介護サービス		200	200	200	200	
ドライバー		400	400	400	400	
警備		200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け		200	200	200	200	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

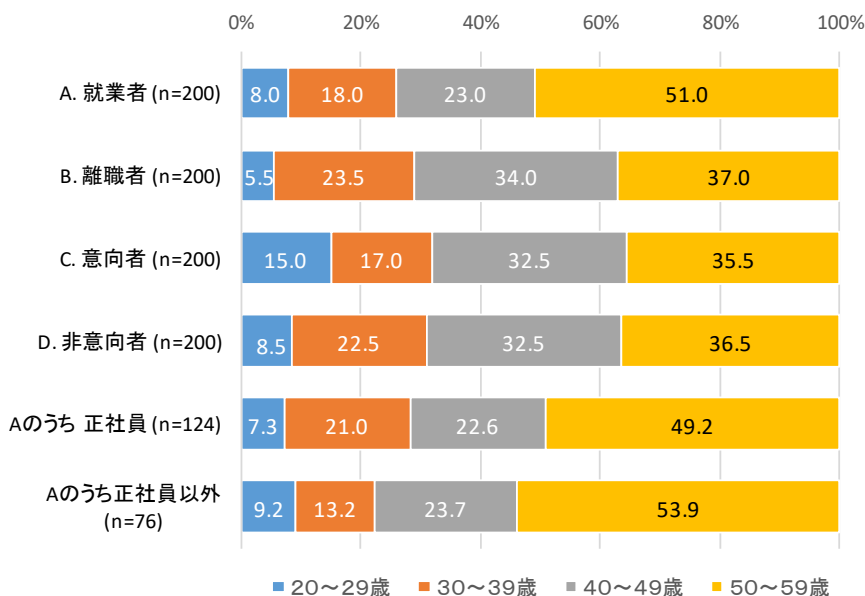
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者、B.離職者では男性の比率が約9割となっている。A.就業者のうち正社員※1では、正社員以外※2よりもやや男性の比率が高い。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では50～59歳が約半数にのぼる。B.離職者ではA.就業者と比べ30～39歳、40～49歳の割合が高くなっている。



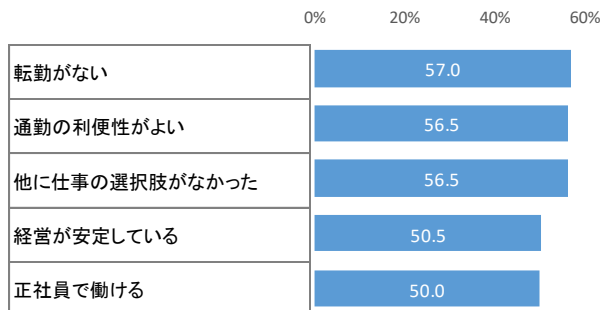
※1 自営業者などを含む。

※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち3.9%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

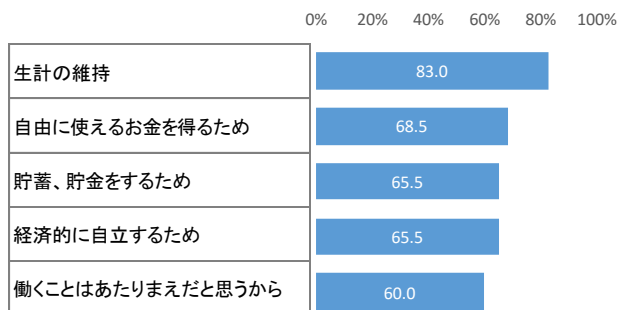
就業者が警備の仕事を選んだ理由の上位2項目は、「転勤がない」「通勤の利便性がよい」という勤務地に関するものとなっている。これらに「他に仕事の選択肢がなかった」「経営が安定している」「正社員で働ける」が続く。



(%, n=200)

■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

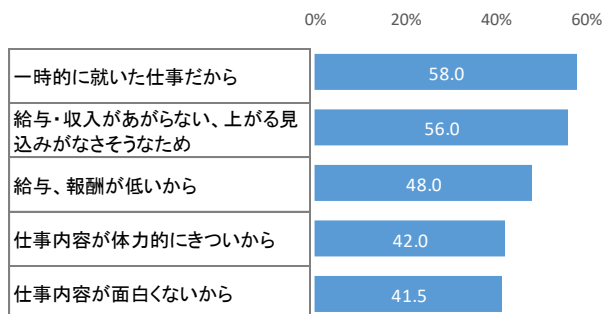
就業者に、警備の仕事を続けている理由を聞くと、上位5項目のうち4項目は「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」などの経済的要素となった。これらに「働くことはあたりまえだと思うから」が続く。



(%, n=200)

■ 離職の理由 離職者の上位5項目

過去に警備の仕事で働いていたが離職した人の離職理由は、「一時的に就いた仕事だから」が最も多く、次いで「給与・収入があがらない、上がる見込みがなさそうなため」などの給与面と、「仕事内容が体力的にきついから」「仕事内容が面白くないから」が上位になっている。

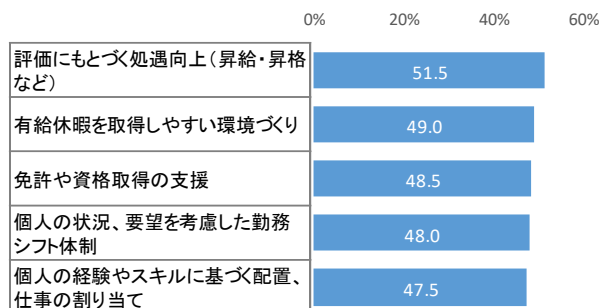


(%, n=200)

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

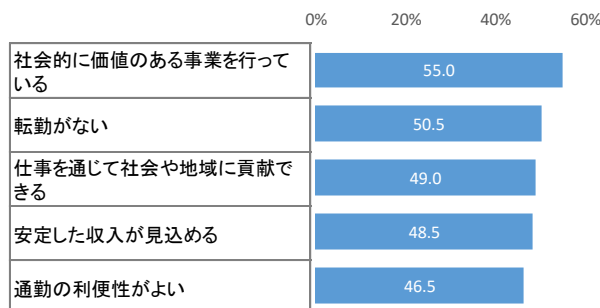
警備の仕事の就業者が必要を感じる改善点は、「評価にもとづく処遇向上（昇給・昇格など）」「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「免許や資格取得の支援」など。幅広い項目が選ばれている。



(%, n=200)

■ 意向の理由 意向者の上位5項目

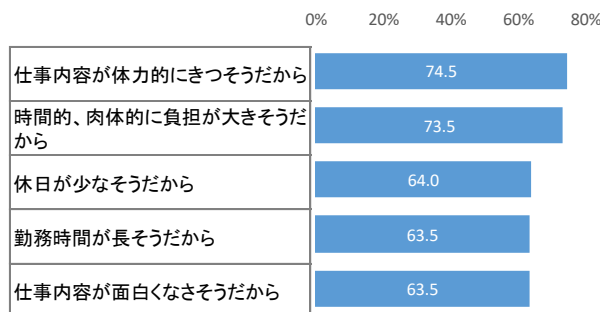
警備の仕事で働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。多く挙げられたのは、仕事内容についての「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」、勤務地についての「転勤がない」「通勤の利便性がよい」、給与についての「安定した収入が見込める」などであった。



(%, n=200)

■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

警備の仕事で働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」などの労働負荷や、「仕事内容が面白くなさそうだから」という職務内容に関するものが上位になった。

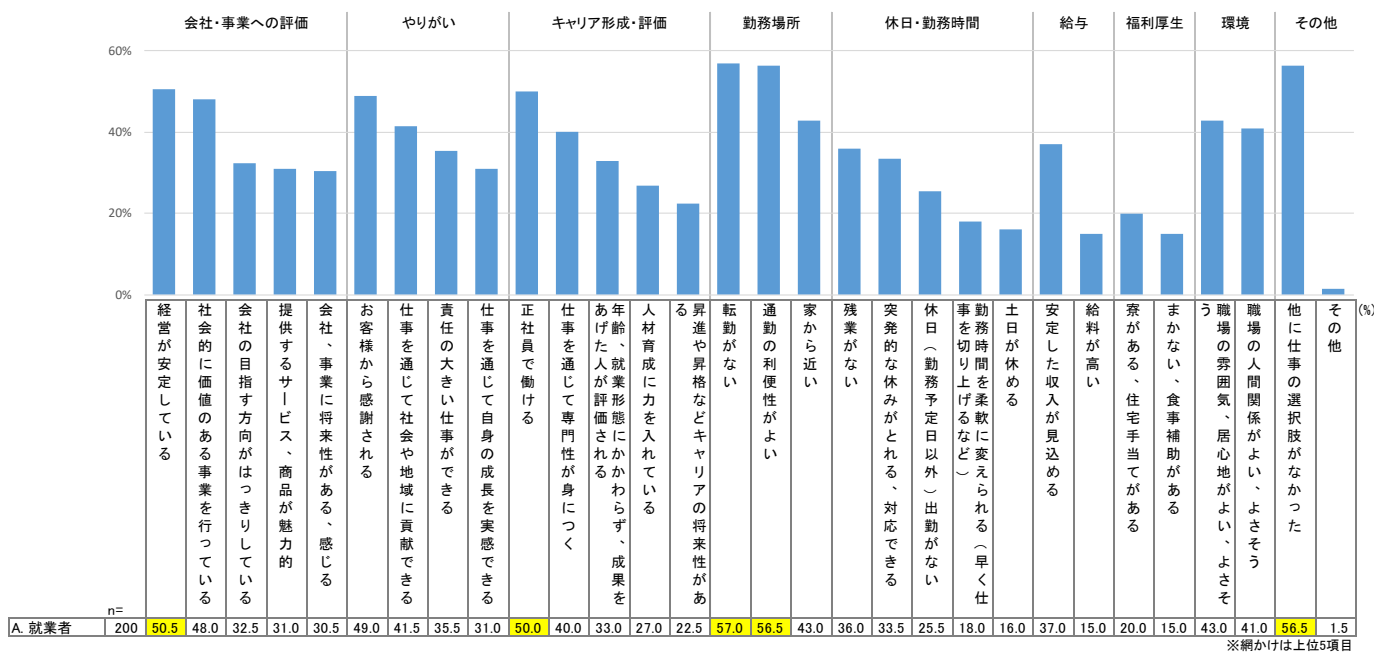


(%, n=200)

1. 仕事の選択理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

就業者が警備の仕事を選んだ理由の上位2項目は、「転勤がない」「通勤の利便性がよい」という勤務地に関するものとなっている。これらに「他に仕事の選択肢がなかった」「経営が安定している」「正社員で働ける」などが続く。休日・勤務時間や給与面は理由になることが少ないようだ。



【A. 就業者】

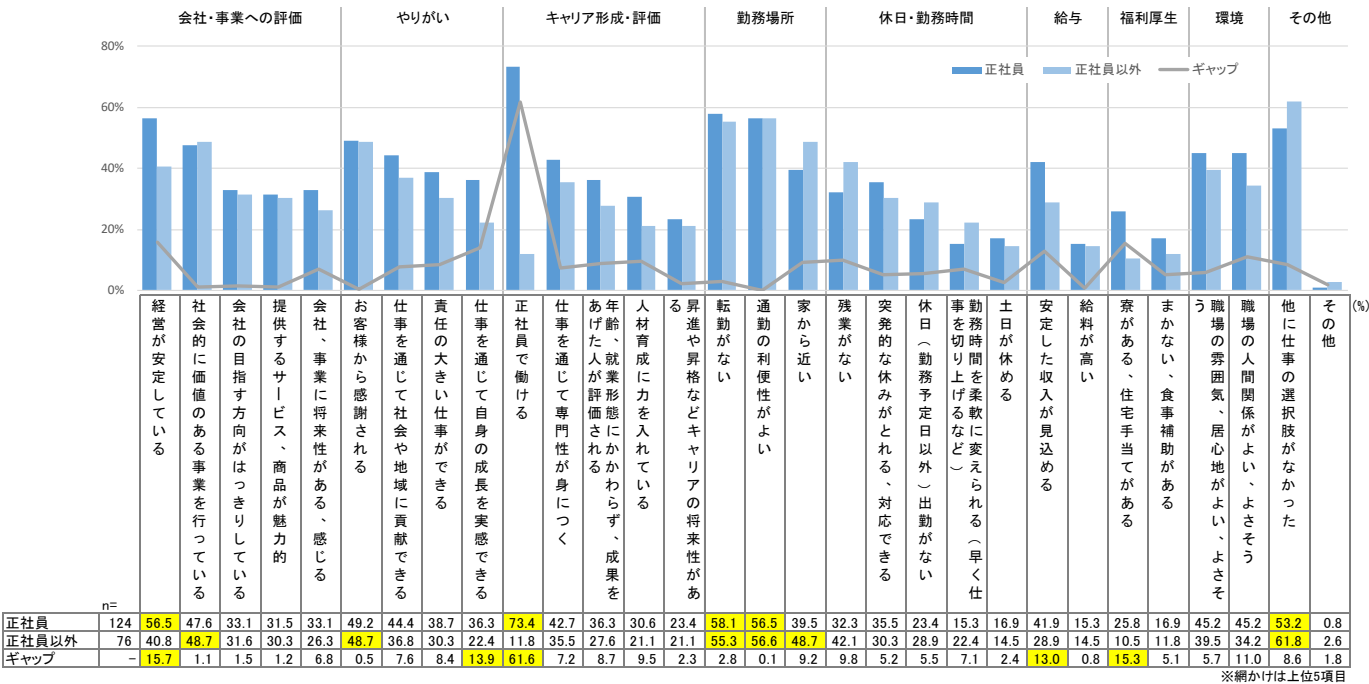
Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

1. 仕事の選択理由

警備の仕事を選んだ理由について、A. 就業者を正社員と正社員以外で分けて見てみよう。

両者ともに「転勤がない」「通勤の利便性がよい」という勤務場所に関する項目が上位になっている。その他に、正社員は「正社員で働ける」「経営が安定している」「他に仕事の選択肢がなかった」、正社員以外は「他に仕事の選択肢がなかった」「家から近い」「社会的に価値のある事業を行っている」「お客様から感謝される」なども上位になっている。

ギャップがもっとも大きい項目は、「正社員で働ける」で正社員の方が高い。その他にギャップが大きいのは、「経営が安定している」「寮がある、住宅手当がある」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」「安定した収入が見込める」で、いずれも正社員の方が高い。



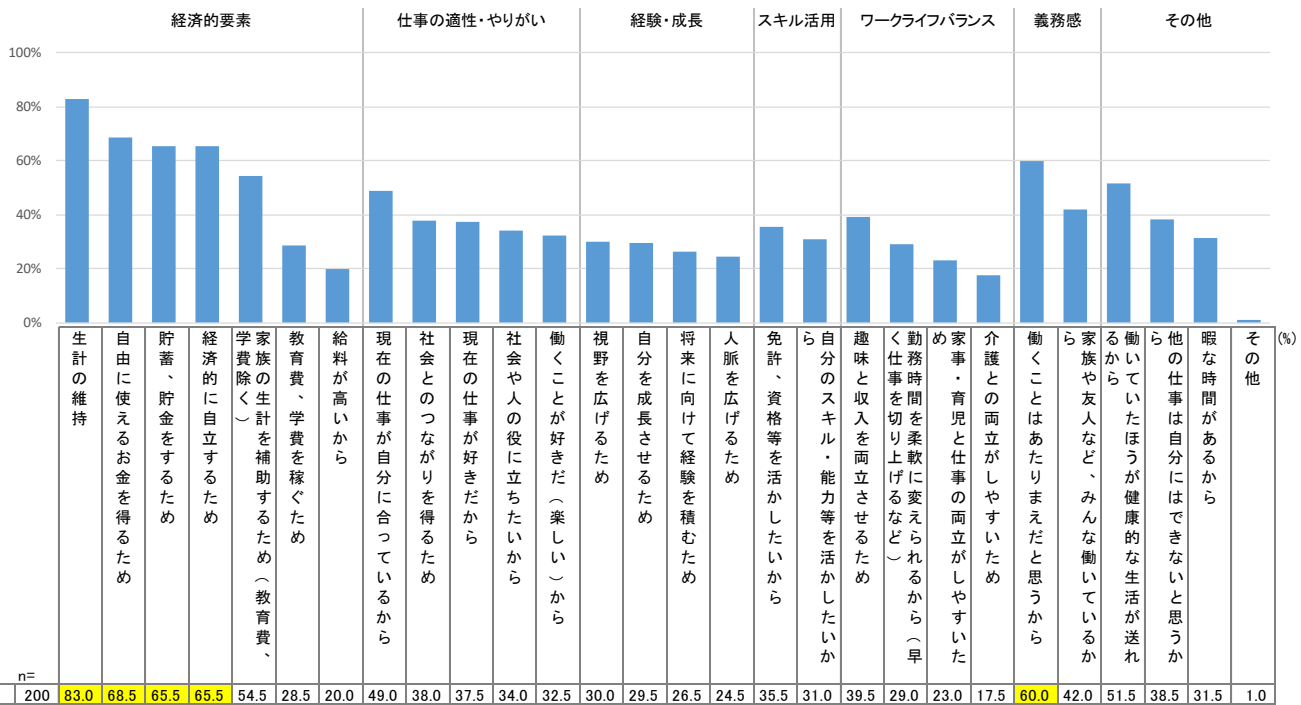
【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

就業者に、警備の仕事が続いている理由を聞くと、上位4項目は「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」「貯蓄、貯金をするため」「経済的に自立するため」という経済的要素となった。これらに「働くことはあたりまえだと思うから」「家族の生計を補助するため（教育費、学費除く）」「働いていたほうが健康的な生活が送れるから」などが続く。



【A. 就業者】

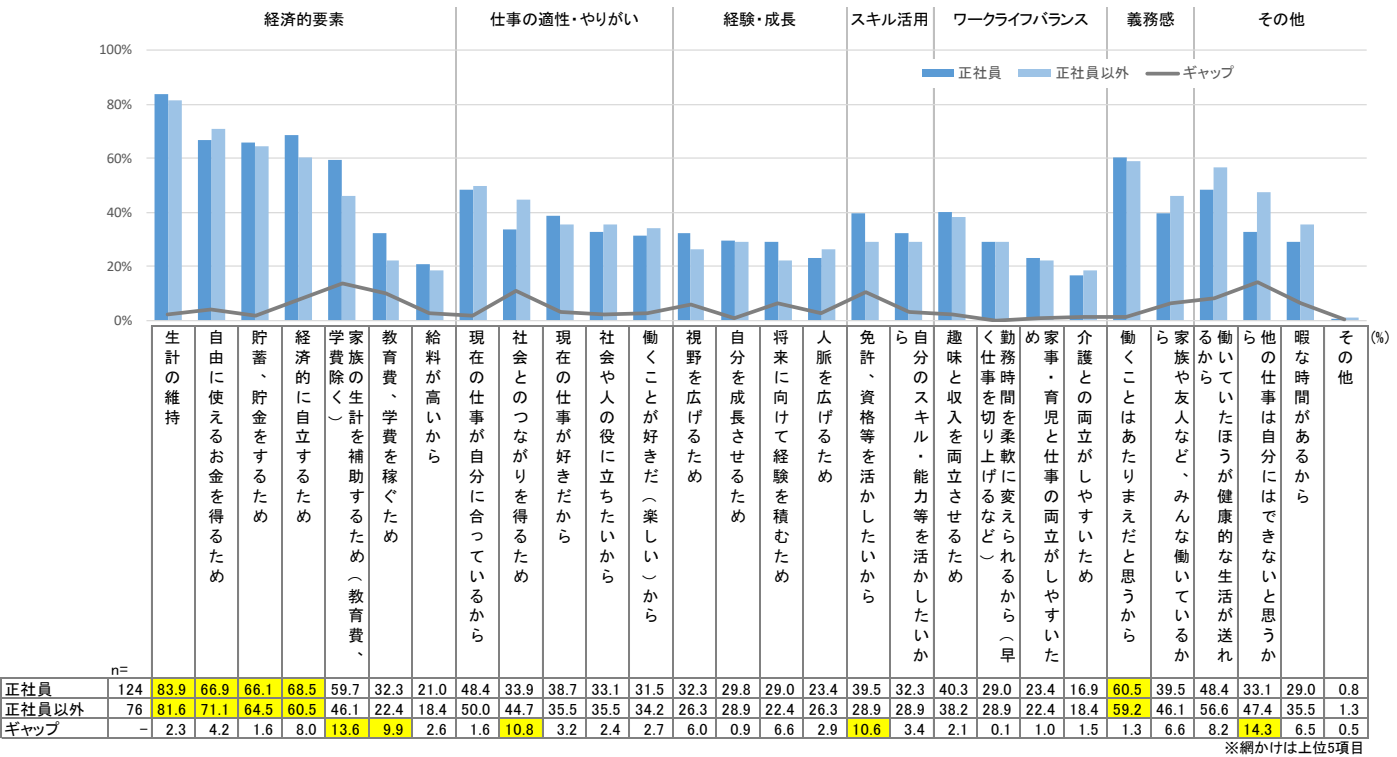
Q. あなたが現在、「警備の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

警備の仕事で働き続ける理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

正社員も正社員以外も、上位4項目はいずれも経済的要素で、それに続いて「働くことはあたりまえだと思うから」が多くなっている。

両者のギャップが大きい項目を見ると、「家族の生計を補助するため（教育費、学費除く）」「教育費、学費を稼ぐため」「免許、資格等を活かしたいから」などは正社員の方が割合が高く、「他の仕事は自分にはできないと思うから」や「社会とのつながりを得るため」は正社員以外の方が割合が高い。



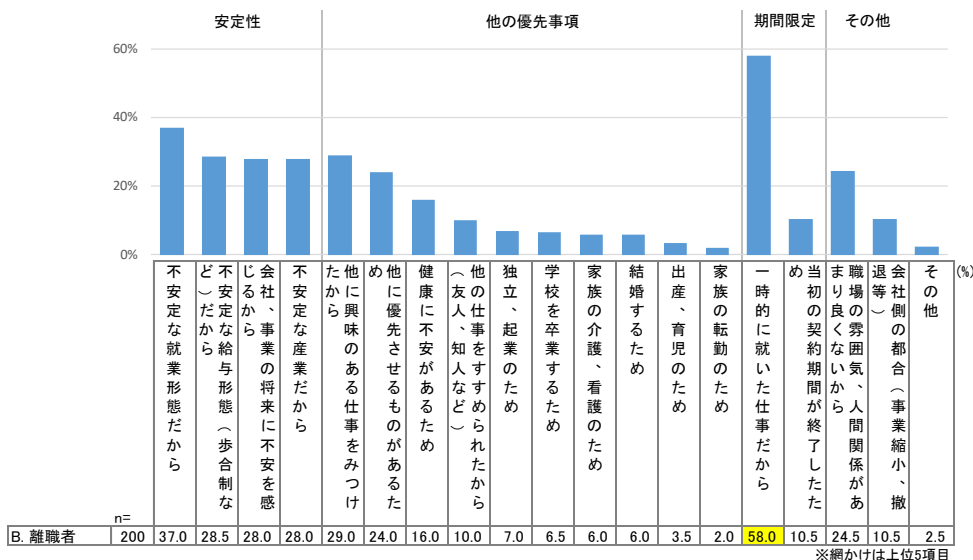
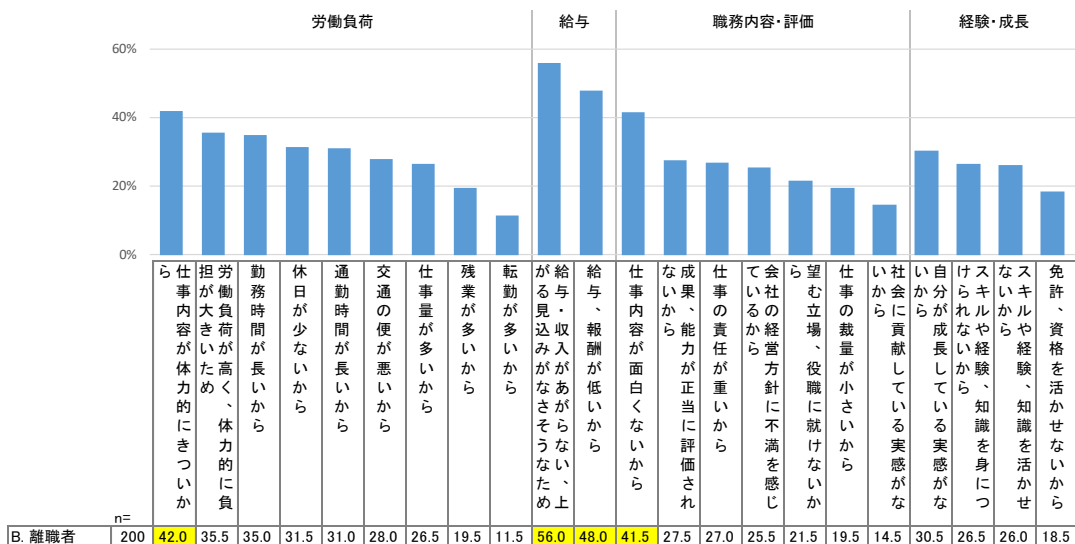
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「警備の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

B. 離職者／A. 就業者

過去に警備の仕事で働いていたが離職した人の離職理由は、「一時的に就いた仕事だから」が最も多く、次いで「給与・収入があがらない、上がる見込みがなさそうのため」「給与、報酬が低いから」という給与面と、「仕事内容が体力的にきついから」「仕事内容が面白くないから」などが上位になっている。



※網かけは上位5項目

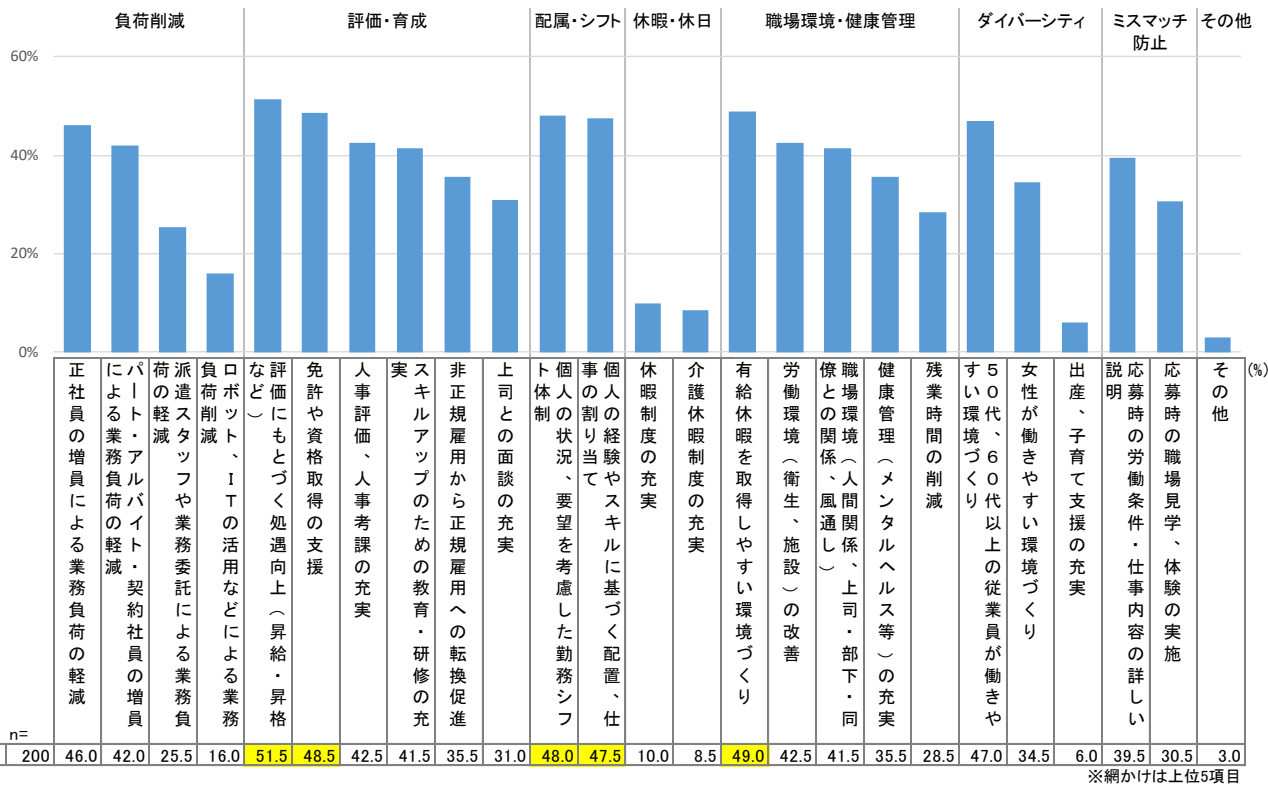
[B. 離職者]

Q. あなたが以前、「警備の仕事」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

警備の仕事の就業者が必要を感じる改善点は、「評価にもとづく処遇向上（昇給・昇格など）」「免許や資格取得の支援」「個人の状況、要望を考慮した勤務シフト体制」「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「有給休暇を取得しやすい環境づくり」など。幅広い項目が選ばれている。

＜必要を感じる改善点＞



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

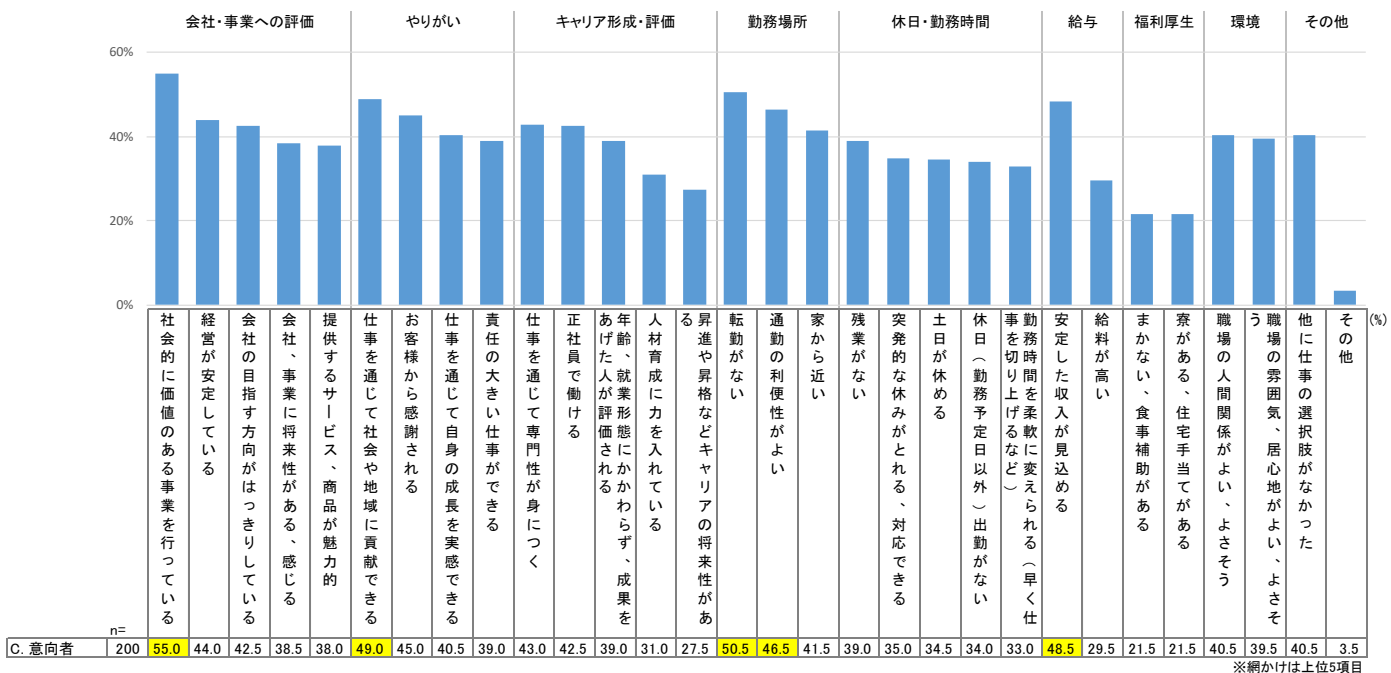
Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（「非常に必要」「必要」の割合）

4. 意向・非意向の理由

C. 意向者／D. 非意向者

警備の仕事で働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。多く挙げられたのは、仕事内容についての「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」、勤務地についての「転勤がない」「通勤の利便性がよい」、給与についての「安定した収入が見込める」などであった。「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」などは就業者の仕事選択の理由では上位に入っておらず、意向者の中でも限られた層が実際の就業者となっている可能性がある。

<意向の理由>



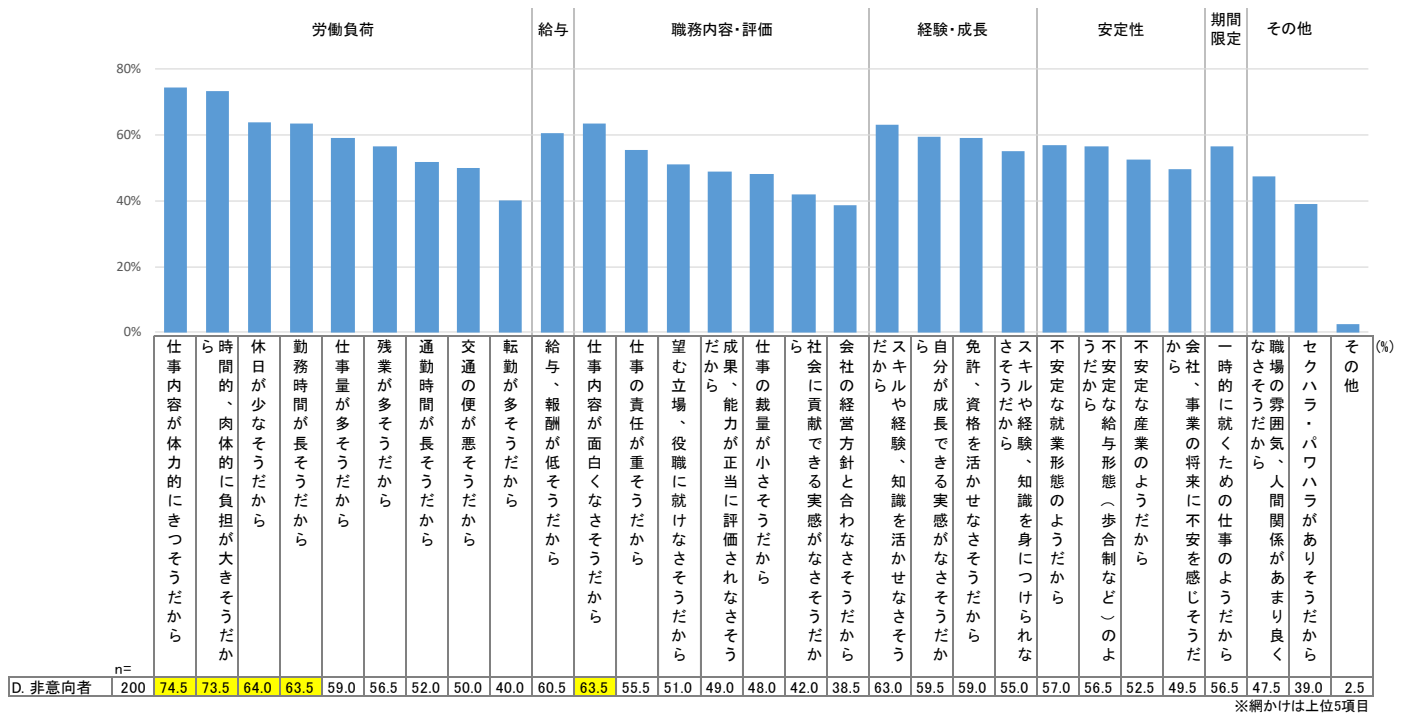
【C. 意向者】

Q.あなたが、「警備の仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

4. 意向・非意向の理由

警備の仕事で働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。多くの項目が50%を超える割合となっている。中でも、「仕事内容が体力的にきつそうだから」「休日が少なそうだから」などの労働負荷や、「仕事内容が面白くなさそうだから」という職務内容に関するものが上位になった。

＜非意向の理由＞



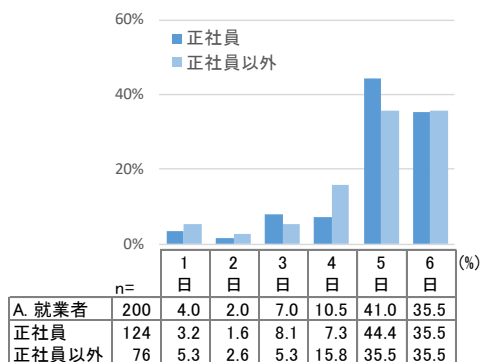
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「警備の仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

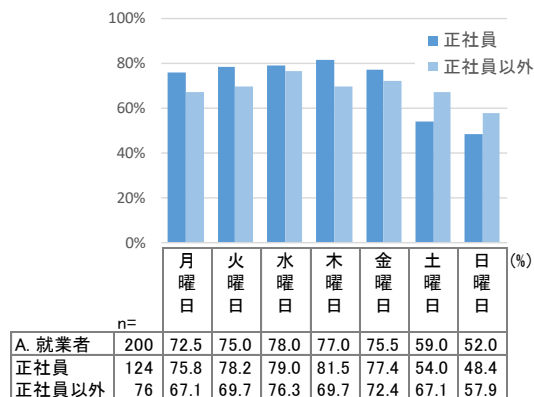
【参考】 勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

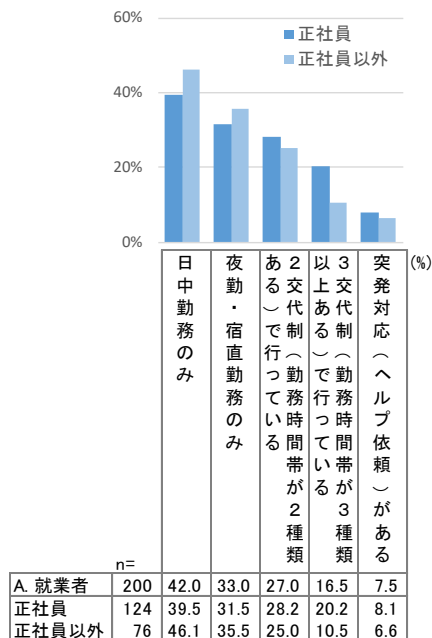
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



■ 勤務時間帯



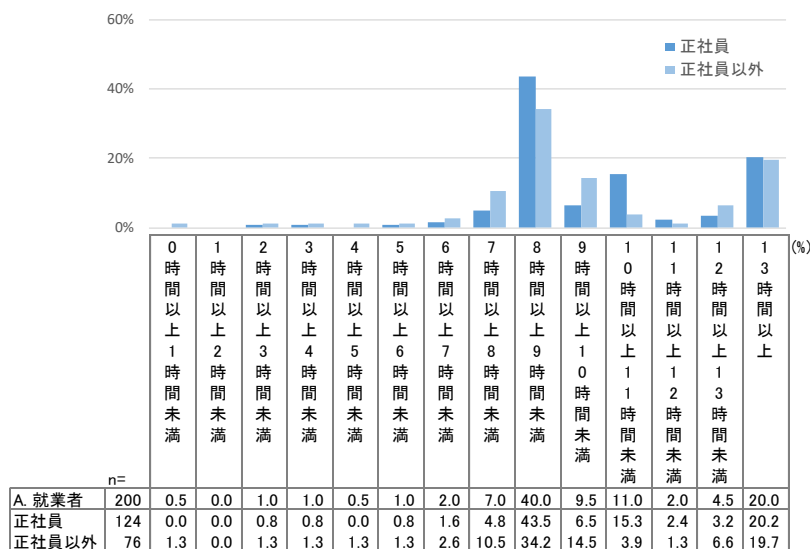
【A. 就業者】

Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務日数をお知らせください。(数値回答)

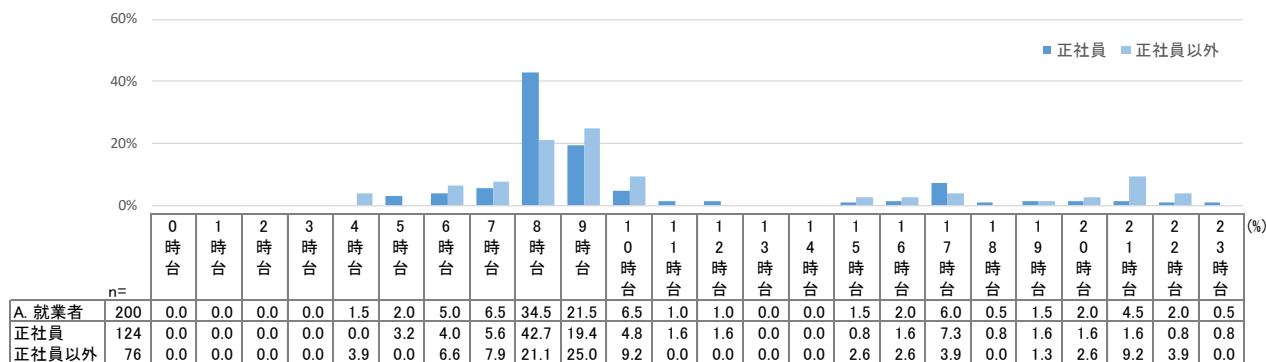
Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務曜日をお知らせください。(複数回答)

Q. あなたの勤務の時間帯ではまるものをお知らせください。(複数回答)

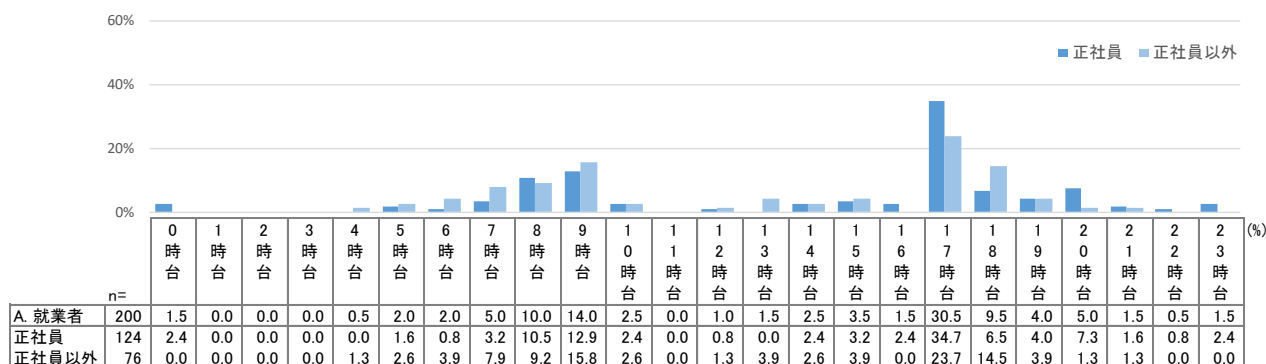
■ 1日あたりの 平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（数値回答）

Q. あなたの勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に3パターンを記入してください。／パターン1（数値回答）